

5. 財務諸表に対する注記

一般財団法人熊本市国際交流振興事業団

平成27年3月31日現在

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

投資有価証券の評価基準は、満期保有目的のため、償却原価法（定額法）を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却方法は、定額法で行っている。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当資産

職員の退職給付に備えるため、当該事業年度末における退職給付債務に基づき、当事業年度で発生していると認められる額を計上している。（期末要支給額と中退共積立金との差額不足分）

(4) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。（単位：円）

科目	前期末残高	当期末残高	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	179,877,942	6,180	0	179,884,122
額面差額調整預金	122,058	0	6,180	115,878
小計	180,000,000	6,180	6,180	180,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	3,709,367	0	0	3,709,367
額面差額調整資産	24,055	6,180	0	30,235
事業推進資金積立金	10,152,000	0	8,000,000	2,152,000
小計	13,885,422	6,180	8,000,000	5,891,602
合計	193,885,422	12,360	8,006,180	185,891,602

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。（単位：円）

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	179,884,122	179,884,122	0	—
額面差額調整預金	115,878	115,878	0	—
小計	180,000,000	180,000,000	0	—
特定資産				
退職給付引当資産	3,709,367	0	0	3,709,367
額面差額調整資産	30,235	0	30,235	0
事業推進資金積立金	2,152,000	0	2,152,000	0
小計	5,891,602	0	2,182,235	3,709,367
合計	185,891,602	180,000,000	2,182,235	3,709,367